



みんなが明日も来たくなる学校

未来をつくる
いわきの学校教育ABCプラン

次代のいわきを担う、「生きる力」
を身に付けた子どもの育成

小玉小学校は、「子ども一人ひとりの人権を尊重し、自他の生き方をつなぐ」学校経営を通して、「みんなが明日も来たくなる学校」づくりに努めてまいります。

最重点目標 ㊦ 心も体もたくましい子

めあてを持ってあきらめずにやり抜き、健康で安全に生活することができる。

- めあてを持ち、運動する習慣を育てます。
- 健康や安全への意識を育てます。

重点実践事項 1

◎ 自らの健康や安全について考え、判断し、実行する力を高めるために、体育・健康教育・安全教育の充実に努める。

- 学習カードを活用した運動の取組
(水泳、持久走、鉄棒・とび箱・マット運動、なわとび等)
- データに基づく体力・運動能力の向上
(新体力テスト4-6年、運動身体づくりプログラム全学年実施)
- 生きる力を育む健康教育・安全指導
(保健教育・歯科指導、食育の充実「ふれあい弁当デー」等避難訓練・引き渡し訓練、防犯教室、交通教室)

重点目標 2 ㊧ だれにでも思いやりのある子

お互いのよさを認め合い、相手を思いやることができる。

- 相手の立場を考える態度を育てます。
- 思いを表現する力を育てます。

重点実践事項 2

◎ 思いやる言動を意識し、実践する事ができる態度を育むために、縦割り活動や地域体験活動の充実に努める。

- 「思いやり」「規範意識」に重点を置いた道徳科の授業の充実 (考える時間と話し合う時間の設定、「ふくしま道徳資料集」の活用、管理職の授業参画)
- 縦割り活動や地域活動の場と機会の充実 (登校班、清掃活動、1年生を迎える会、卒業生を送る会、収穫祭、芋掘り、パートナーシップ事業)
- 集会活動や掲示物での思いやる言動の充実 (児童集会活動、友だちのよさの紹介)

重点目標 3 ㊨ 学び続ける子

思いや考えを伝え合い、学ぶ楽しさを味わいながら、確かな学力を身に付けることができる。

- 学び方を身につけさせます。
- 伝え合う力を伸ばします。

重点実践事項 3

◎ 学習内容を確実に定着させ、思考力・判断力・表現力等の活用する力を高めるために、言語活動の充実に努める。

- 「見通し」「振り返り」の時間を位置づけ、授業の充実を図る。
(授業スタンダードに基づく授業、書く・発表する場の設定、試行錯誤する時間の確保、学び合う機会の確保、ノート展)
- 授業と家庭学習の連動・家庭学習の習慣づくり
(家庭学習スタンダードの活用、学習のきまりの活用、活用力育成シートの活用)
- 「5つの言語意識」を明確にした言語活動の充実
(相手・目的・場面状況・方法・評価)

基本目標
～「人権」意識～
○ 人権尊重の視点に立った環境づくりに努める。
○ 家庭・関係機関と連携し、積極的な生徒指導を進め

学校経営の基盤
～「協働」意識～
「協働」「人権」「つなぐ」意識を持って、教育目標の具現に努める。
○ 人事評価システムと連動した校務遂行を行う。
○ 広報・周知を工夫し、開かれた学校作づくりを行う。
○ 互いに教え、学び合う教職員。

～つなぐ意識～
○ 関係機関と連携し、地域資源を積極的に活用していく。
○ 子どもの成長を見通し、幼保・小・中の連携を進めていく。